

基 総 第 1 5 2 号  
平成 29 年 4 月 14 日

基山町議会 議長 鳥飼 勝美 様

基山町長 松田 一也



議会と語ろう会における町民意見要望への対応について (回答)

平成 29 年 3 月 24 日付基議第 479 号で依頼のありました標記の件について、下記のとおり回答します。

記

- 1 引きこもりや発達障がい等の子ども達が安心して過ごせるスペースを若基小学校・基山小学校の中などにつくってもらえないか。

(回答) 現在、子ども達が落ち着くことのできるスペースとして、教育相談室や、ふれあい学級内部にあるカームダウンスペースを設置しております。該当児童の状況によって、安心する、落ち着く環境が異なるため、個別に相談に応じて対応するようにしております。

- 2 いじめ・登校拒否など、小中学校教職員の注意意識レベルの向上をもっと徹底してほしい。

(回答) 毎年、いじめも含めた様々なケースに対応するための職員研修を、通常の研修に加え長期休業中等には演習等を含めた重点的な研修を実施しております。これを今以上に活用し、いじめや不登校などに対応する教職員の能力の向上に繋がるよう徹底してまいります。

- 3 緊急事態の時には、預けられるような施設はないのかといったような、子育て世代への情報が不足している。子育て世代への情報発信整備について、町はどう考えているか。

(回答) 子育て世代への情報提供や子育て世代間の情報交流の場として、基山町保健センター2階に「きやま子育て交流広場」を設置し、アドバイザーが、

子育てに関する相談に応じています。

また、平成 29 年度、情報発信整備関係事業として、「基山町ホームページ」の見直しと「子育てガイドブック」の見直しを予定しています。

ホームページについては、全面的な改修を予定していますので、子育て関係情報の整理と掲載方法の検討をしています。

ガイドブックについては、改訂の方法として、内容のカラー化を行うとともに、内容についてもアンケート等で子育て世代の意見を聴きながら、必要な情報を掲載出来るよう整備し、出生届提出時や転入時の窓口での配布に加え、町内の保育園、幼稚園、医療機関、公共施設等に設置、配布していきたいと考えています。

更に、将来的には、子育て支援の総合的ワンストップ窓口として「子育て世代包括支援センター」を設置し、子育て世代に対する一元的な相談受付と情報発信に取り組んでいきたいと考えています。